

CVVが05年度総会

NPO法人化検討結果報告



土木学会関西支部の共同研究グループFCC（フォーラム・シビル・コスモス）OBらの土木技術者で組織する「CVV（シビルベテランズ&ボランティアズ）」（委員長・松井保大阪大学名誉教授、幹事長・谷平勉



谷平幹事長

近畿大学理工学部教授）は2日、大阪市北区の大阪市大文化交流センターで05年度総会を開いた。写真。アドバイスグループなどの活動のほか、NPO法人化に向けた検討結果などが報告され、一層の社会貢献を申し合わせた。

冒頭、谷平幹事長がこの一年の活動を総括。団塊の世代に関心が集まっていることに触れ、世代意識調査の試みや、「CVVな男たち」のテーマで土木技術者にスポットを当てることなどを提案したほか、留学生支援などを呼びかけた。

アドバイスグループの茂岡一政リーダー（大阪府OB）は、市民見学会や出前講座、さらに神戸市が進める「土木学校」の支援活動などの実績を報告。まちづくりグループの村上正リーダー（大阪府OB）は、滋賀県栗

東市の新幹線新駅の開発コンペや大阪駅北地区の開発コンセプトコンペに参加したこと、さらに御堂筋の活性化についての研究経過を報告した。

「NPO法人化検討委員会」の池亀建治委員長（日本PFI協会関西事務所長）は、CVVは「宝の山」との認識の下に、個人が自立した組織とするために「部分法人化」を提案した。

「水とみらい研究会」の廣海泰次郎リーダー（大阪府OB）は、大阪府下衛星都市の水道設備の省エネ提案を行ったことなどを報告。記念誌検討委員会の隅野哲郎委員長（大阪ガスOB）は、CVVの設立経緯を改めて紹介するとともに、10周年記念誌発行に向けて本格的に取り組む考えを示した。

総会後の懇親会で松井委員長は、各委員会活動の成果を評価するとともに「技術の継承」と「人材の育成」など、魅力ある土木界の実現に一層の尽力を訴えた。